

平成31年 2月 8日  
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	津和野高校1年生学外授業 in おくがの村 ～「食と農」の大切さを学ぶ～
-----	---

(ダイジェスト)

津和野高校では学外の人を講師に特別授業を定期的に行っています。今回は「食と農」をテーマに、わくわくつわの協同組合（糸賀盛人理事長）に依頼され、教室ではなく現地視察を兼ねた校外学習として開催されました。生徒は現場視察もさることながら、糸賀理事長の魂の入った話に聞き入っていました。

1月29日（火）正午、津和野高校1年生48名が「食と農」の講義を受け、奥ヶ野会館（津和野町中山）にやって来ました。

奥ヶ野産米のご飯をお腹いっぱい食べた後、糸賀理事長から世界の富の偏在や食糧事情の話、「人間、生きるために必要なものは空気と食べ物と太陽。金は無くても生きられるが食べ物がなければ生きられない。」などの講話を受けました。

その後、整備中のほ場を見ながら現場をグルッと回り、途中で記念としてほ場の法面にみんなでシバザクラを植栽しました。

集会所に戻り、糸賀理事長から一人一人に「人間食べ物がないと生きられないことを十分に理解されたことを認定します」と書かれた認定証が手渡され、最後に「自分の命を大切にしろ」「人の命も同じ」といった気持ちのこもった言葉が送られ、“ふるさと”など3曲をみんなで合唱し終了しました。

最初は騒いでいた生徒も途中から糸賀理事長の話に聞き入り素直に聞いていたのが印象的でした。

昨年10月に行われた町内小中学校への米の贈呈に続き、食の大切さを伝える良い機会となりました。普及部では引き続き「わくわくつわの協同組合」の活動を支援をし、農業振興・地域振興に取り組んでいきます。



糸賀理事長講話



芝桜を植栽し記念撮影